

# 学びの姿の見取り ▶ 振り返りの視点の活用

本校では、児童の学びの姿を見取る方法の一つとして、学習後の振り返りの記述を活用しています。しかし、「学習を振り返って感じたことを記述しましょう」と声を掛けるだけでは、児童が何を書いたらよいのか分からないだけでなく、教員も児童の学びの姿を見取ることは困難です。そこで、校内研究を通して育成を目指す児童の姿に照らし合わせながら、児童が振り返りを記述する際の視点を各学年で決めました。

## 育成を目指す児童生徒の姿



## 振り返りの視点を設定

レベル1 分ったこと・できたこと  
(～が分かった) (～を知ることができた)

レベル2 解決の仕方  
(○○さんの考えを聞いて～) (○○を使うと～ができた)

レベル3 自分の変化・成長  
(～の考え方が変わった) (～の力がついた)

達人 学びのつながり  
(前の学習と比べて～) (生活の～で使える)  
(もし～だったらどうか)【新たな疑問】

第6学年で設定された振り返りの視点

例えばこんな振り返り

四角形の面積の求め方を使えば、  
平行四辺形の面積を求めることが  
できた。他の形にも、今まで勉強した  
ことが使えるのかな？



第6学年児童



学びの姿を見取る教員

研究協議会では、振り返りの記述から見取った児童の学びの姿を基に協議を行う教員が増えてきました。また、視点を定めて継続的に学習の振り返りを行ってきたことで、自分の学習状況を把握し、意欲的に次の学習に取り組もうとする児童が増えてきました。  
(F小学校 校内研究主任)